

第25回 番組審議会 議事録

開催日時：2018年11月29日（木）16:05～17:15

会場：京都府舞鶴市字円満寺158-6 西市民プラザ2階 市民活動団体活動室

委員総数：7人 出席：4人 欠席：3人

出席委員：水嶋純作、今安博和、山内茂樹、楠崇智

欠席委員：尾関善之、山下美晴、松井恭子

局側出席者：ジェネラルマネージャー 時岡浩二

放送局長 中西進

制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

議事

1. 局からの報告事項

- ① 10/7が「引揚げの日」条例制定となった後の10/12（金）に、音楽劇「君を生きて」の音楽プロデューサーであるユウサミイ氏が来鶴されたので、夕方の番組にご出演いただき、舞鶴・引揚げについて語っていただいた。この条例制定関連で、引揚記念館の高校生語り部に出演いただく番組を計画中である。
- ② 11/11（日）告示、11/18（日）投開票の舞鶴市議会議員一般選挙について、次の特別番組を放送した。
 - ・11/11（日）～11/17（土）
3分間の選挙啓発（期日前投票、市民の声）ミニ番組を適宜、ステーションブレイクに放送。
 - ・11/18（日）
投票中の投票率速報を16:09、18:04、19:32に割込放送。20:00～24:00 開票速報特別番組を放送。
- ③ 追加の新パーソナリティ募集に4名の応募（成人女性2名、高校生男性2名）があり、11/26（月）から研修開始（高校生1名を除く）した。
- ④ 五老ヶ岳公園への市道榎五老岳線が11/19（月）通行止めになったため、同日から五老スカイタワーとななこのCMを休止して、番組協賛募集のCMに差し替えている。
- ⑤ 年末年始はスタジオのある西市民プラザが12/29～1/3の間、休館になるので生放送は休止し、年末年始特番を収録放送する予定である。
- ⑥ 年始から1週間、例年のように「ラジオ年賀状」を放送する。それに伴い、12月末の休館前ぎりぎりまで協賛企業等を募集する予定

2. 議題

① 番組審議

2018年11月18日（日）20:00～24:00 放送の

平成30年舞鶴市議会議員一般選挙 開票速報 特別番組

出演：（スタジオ）進行役、アシスタント（開票所）リポーター2名

【主な意見】

- 4時間枠の全体の構成*は概ね良かった。
 - *20～21時 投票状況速報、立候補者紹介、有権者事前インタビュー、開票所レポート等
 - 21～22時 投票状況速報、立候補者紹介、有権者アンケート結果、開票所レポート等
 - 22～23時 開票速報（2回、選管発表）
 - 23～24時 開票速報（選挙結果、選管発表）、当選者政策紹介
- 違和感があった箇所としては、スタジオの進行役とアシスタントとのトーク・コメントが必要かどうかというところ。例えば、ショッピングセンターに設けられた期日前投票所に関するトーク・コメントは、別の局外識者コメンテーターを立てて、進行役からその人にコメントを求める形にするのがよい。また、有権者アンケートも進行役/アシスタントで紹介し、合わせてトーク・コメントしていたが、報道番組であるので局側の人間は結果の紹介だけにし、コメントは識者コメンテーターに求める形にするのがよい。局側の人間が番組進行とトーク・コメントの両方をやると、局のスタンスが不明確になる。
- 候補者の呼び方として「さん付け」していた箇所と敬称略としていた箇所があった。候補者や当選者を一覧表的に紹介する場合は「敬称は略します」と前置して氏名を読み、その他の場面で候補者/当選者を呼ぶ場合は「さん付け」とするなど、局としてのスタンスを決めるとよい。
- 票数の読み方で、同じ票数でも異なる読み方をする場合があった。例えば、100票の場合「ヒャクヒョウ」と「ヒャツピョウ」、1000票の場合「センビョウ」と「センピョウ」など。
 - 局回答：次の機会には出演者に周知する（参考：NHK 日本語アクセント新辞典に標準の票数の読み方の記載がある）
- 票数を読み上げる途中で、候補者の氏名→得票数の順に読むとき、1000票のところ「ヒャク・・・」と言い間違い、「センビョウ」と言い直した箇所があった。続けてきくと「ヒャク・・・センビョウ」と聞こえてしまうので、この場合は、候補者名まで戻って得票数を正しく言い直したほうがよい。
- 終了後に当選者名をいうとき、頭に順位を付けた箇所があったが、少し違和感があった（1位 ○○など）。
- 終了までの候補者名を一覧表的にいうとき、「届出順」という言葉を前置するのはよいが、全候補者を読み終えるまでは長いので、途中でも「届出順でお伝えしています」と繰り返した方がよい。
- 選挙公報に記載の候補者名は届出順にはなっていないので、放送の届出順の候補者名を聴いて選挙公報内で当該候補者を探しにくかった。放送上で、なにかいい工夫はないものか。
- 録音の有権者インタビューは良かったが、一部、質問の仕方に「上から目線」的な箇所があった。「あなたは～ですか？」など。録音インタビューを流す前に誰が（どういう立場の人が）質問したか説明があると良かった。
- 番組構成上、フィラー音楽が必要な箇所があるのはわかるが、少し長く感じる箇所があった。

③ その他の番組等に関する意見等

舞鶴市は2020年東京オリンピック・パラリンピックのウズベキスタン選手団のホストタウンになることが決まっている。ウズベキスタンは舞鶴と戦中の抑留者/引揚げの関係でつながりがある。舞鶴市は「海外引揚がつないだご縁」を東京オリンピック・パラリンピックを契機として、さらに積み重ねて後世に引き継いでいきたいとしているところであり、これから市民の啓発を図る関連番組があるとよい。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2018年12月11日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2018年12月11日からホームページで公開した。